

三重県津市

金型製作の専門家 次世代自動車の開発の一翼を担う

現行および次世代の自動車のエンジン、ミッション、モーターなどを中心とする部品を作るための各種ダイカスト金型を設計・製作するものづくり企業。金型に関しては部品、検査治具、メンテナンスまで何でも手掛ける。顧客とするメーカーは、日系はもとより欧米、アジア系まで幅広い。広範な製作能力を持つなかでも、国内外で製作が難しいとされる2,000t以上の大型金型を得意とし、同社しかできない技術で受注を獲得している。

●所在地	三重県津市久居一色町265番地	●設立	1970年
●電話/FAX	059-254-2200/059-254-2288	●資本金	2,000万円
●URL	http://www.sanyu-giken.com	●従業員数	70人
●代表者	代表取締役社長 梅本 大輔		



担い手確保

ものづくり

課題解決型の提案アプローチで、顧客とともに考え、成長する

依頼が多いのは、自動車メーカーが開発中の次世代車の駆動系や軽量化部品に関するもの。EV、FCV、PHVなどの次世代車については、顧客企業側も試行錯誤的な状況であることが多い。したがって、求められるのは単なる製作ではない。同社は、顧客と同じレベルで技術情報交流を進めながら、顧客が抱える高度な技術的課題を理解し、解決案や試作提案などを提示するにまで踏み込む。こうして、高度な金型製造技術に課題解決型提案サービスをプラスした高付加価値製品を提供している。



トランスミッション用金型の高精度加工

多様な人材を集めて育てる、多様な取組

同社は、技術系では珍しく24時間対応の即納体制を敷いている。これを支える多様な人材は、独身寮も備えて全国から募集し男女を問わず採用している。現在の平均年齢は約30歳で、設計開発部署の40%は女性である。社員教育にも注力しており、技術指導の技師、品質納期の生産管理者、製造生産者などに分かれる役割に応じたカリキュラムを整備しているほか、「一流の人間になるには一流の経験をせよ」との社訓に基づく一流食事会や海外社員旅行等の実施を通じて、社員同士のチームワークの醸成を図っている。



教える、教えられる、ともに楽しく学ぶこと

「働きたい改革」で、柔軟な福利厚生制度を充実

社長が10年以上取組む「働きたい改革」。これは「人を雇うことは、その人の人生を預かることだ」というモットーのもと、中小企業ならではの考え方で社員の人生が豊かになる会社を目指すもの。これまでも、多くの画期的な福利厚生制度を作ってきた。例えば、子の看護休暇、不妊治療休暇、待機児童対策休暇、一人親手当、介護勤務、趣味休暇、大会休暇、二日酔い防止出勤、恋人記念食事会等。社員一人ひとりの状況に合せたこれらの独創的な取組が、会社への帰属意識の向上や低離職率にもつながっている。



オシャレで風通しの良い働きたい職場作り